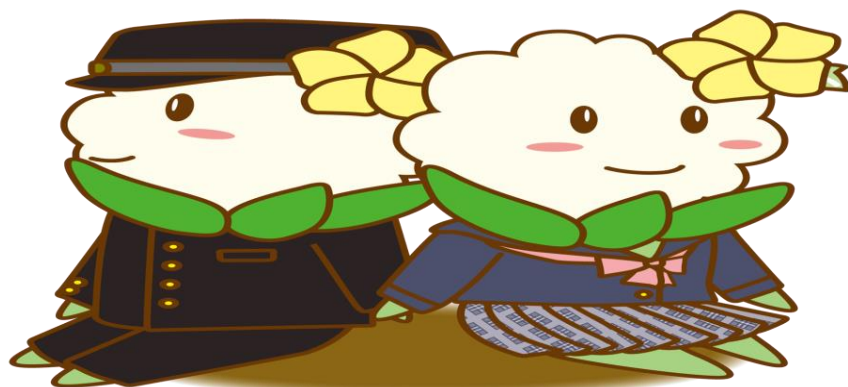


地域の方からの応援メッセージ

これから、「ひらの青春生活応援事業」にかかわってくださっている方からの応援メッセージをご紹介します。

みなさんそれぞれに、感じ取っていただければ、幸いです。



ひらの青春生活応援事業PR ひらちゃん

平野区役所：保健福祉課

【民生委員児童委員さんからの声 1】

この事業にかかわって良かったと思う2つの事案を紹介されました。

☆ Aさんの例

- ・ 自宅を出て、知り合い宅で生活をしており、アルバイトを続けながら、通学していました。
- ・ ある時、地域の役員さんが、今後のことの相談を受けたので、この事業へつながりました。
- ・ スタッフにしっかりと話をきいてもらい、あらためて自分の気持ちに気づくことができたとのこと。
- ・ 相談後は、話し方や声のトーンも明るく感じられるようになったとのこと。

☆ Bさんの例

- ・ ひきこもりが続いていましたが、とある縁で、この事業につながりました。
- ・ あるこども食堂へ通いはじめたところ、いつの間にか「食べる」だけでなく、ボランティアとしても参加するようになり、後に、より責任ある役割も任せられるようになりました。
- ・ これがきっかけとなり、ある団体主催の行事に参加し、こどもたちのリーダーとなったり、ボランティアのまとめ役にもなっています。
- ・ 自信が芽生えているように感じます。

【民生委員児童委員さんからの声 2】

実際の経験談とこの事業の周知にご協力いただいています。

☆ 実際の支援の場に同席した時に・・・

- ・ある生徒さんとのこの事業のスタッフさんの面談に同席したことがあります。
- ・「相談」といっても、相談者は自分の気持ちを話すがむつかしく、気持ちを引き出すことも、最初のうちは、なかなかハードルが高いと思います。
- ・しかし、この事業のスタッフさんは、根気良く相談者と向き合い、対応を続けていきます。
- ・その様子は、素人の自分たちには、考えも及ばない「奥義」のようだと話されています。そうして、信頼関係を積み上げていき、具体的な支援につなげていくことがわかりました。

☆ 事業の周知のご協力

- ・この事業の連携校の同窓会の役員の方が、校長先生や教頭先生とも会う機会があります。
- ・また、当該高校のスクールカウンセラーやこの事業のスタッフとも連絡をとりあう関係もあります。
- ・団体の会合や地域の行事などの場面で、この事業の紹介をしていただいています。